

嘔吐の対応について

感染を防ぐために嘔吐時の対応は、利用者様の対応と後始末の対応を極力少ない人数で行う。

嘔吐があったら療育担当者は

- ・利用者様が嘔吐した時に利用者様の状態を観察する。顔を横に向けて誤嚥しないようにする。
- ・顔色 口唇色 確認
- ・吐物を誤嚥していないか、ひっかけていないか、窒息などはないか。
- ・呼吸が確認する

室内から出ないで嘔吐があったと助けを求める。

嘔吐キットなど吐物処理の物品を持ってきてもらう。

嘔吐キットを持ってきたスタッフは、換気後、予防衣 手袋など装着し吐物処理を行う。

- ・状態が安定したら、更衣、休ませるなどの対応をする。
- ・動ける利用者様なら、吐いた後に走り回るなどの事が無いよう利用者の観察、更衣など行う。

感染性の場合の嘔吐は、その後1時間は部屋を使用しない。青いマットが汚染されたらハイター液を使用しブラシで洗い乾燥させる。